

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 事業所番号 | 2376400228 |
| 法人名 | 有限会社 ネクストサプライ |
| 事業所名 | グループホーム 長篠の家 |
| 訪問調査日 | 平成 19 年 11 月 29 日 |
| 評価確定日 | 平成 19 年 12 月 20 日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター |

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|--------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2376400228 | | |
| 法人名 | 有限会社 ネクストサプライ | | |
| 事業所名 | グループホーム 長篠の家 | | |
| 所在地 (電話番号) | 新城市長篠字西野々42番地の1 (電話) 053-428-3331 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター | | |
| 所在地 | 愛知県名古屋市長和区鶴舞3-8-10 愛知労働文化センター3F | | |
| 訪問調査日 | 平成19年11月29日 | 評価確定日 | 平成19年12月20日 |

【情報提供票より】(平成19年11月21日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|--------------|---------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成17年 6月 16日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 17 人 | 常勤 9人, 非常勤 8人, 常勤換算 | 12.4人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 建物構造 | 木造 造り | | |
| | 1 階建ての | 階 ~ | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|---------|---|
| 家賃(平均月額) | 45,000 円 | その他の経費(月額) | 12,000円 | |
| 敷 金 | 有() 円 (無) | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | 日額 | 1,300 円 | | |

(4) 利用者の概要(11月 21日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 14 名 |
| 要介護1 | 7 名 | 要介護2 | 3 名 | | |
| 要介護3 | 5 名 | 要介護4 | 3 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 79.5 歳 | 最低 | 72 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------|
| 協力医療機関名 | 星野病院、長篠歯科医院 |
|---------|-------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設から3年目を迎えた新進のホームであるが、管理者の信念を理解した職員によってケアの質の向上が著しい。前回評価同様、今回もホームを管轄する上部機構の事務長が同席され、管理とケアの現場が一体となって動いていることに好感が持てる。地域密着サービスと位置付けられたホームの使命そのままに、地域との交流が広く、深く取り組まれている。地域合同で実施された防災訓練への参加については、運営推進会議の貢献も大きい。地元大学との交流も年々広がりを見せていくことが予想できる。家族からは評価の声がなかったが、外出支援も積極的に取り組まれており、利用者の思いや意向に配慮した適切な支援が行われている。散歩、買い物、外食、ドライブ、畑仕事、神社・仏閣への参詣、くみ採りや銀杏(ギンナン)拾い等々、枚挙にいとまがない。いくつかの小さな課題はあるものの、さらなる飛躍が期待できるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | <p>前回評価での改善課題は前向きな取り組みが実施されており、格段にケアの質が向上していることが感じられた。しかし、唯一ケア・マネジメント(介護計画の作成)については対応が不十分として、市の行政監査においてさらなる改善を要求されている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>非常に時間をかけた綿密な自己評価が行われた。それぞれのユニットで、管理者と職員が時間をかけて討議して自己評価票を完成させた。職員にとって、自己評価への全面的な参画は、さらなる改善への気付きや自らの課題発見につながり、質の向上に向けての教育効果は大きい。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1度の運営推進会議が実施されており、構成メンバーも適切に選出されている。前回会議では行事報告や予定の発表にとどまらず、市の行政監査での指導事項の内容が報告され、対処案も検討された。12月に実施される会議では、今回の外部評価の結果が報告され、取り組み事項についての検討が行われる予定になっている。地域を含めた防災訓練(夜間想定)の実施も検討事項に入っている。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族とのコミュニケーションは良好に取られており、大きな問題は起こっていない。しかし、家族への情報提供ツールが明確になっておらず、家族アンケートには情報不足による意見や要望が見られた。情報不足が誤解や苦情・クレームにつながらないように、ホームでの日常生活やイベント(非日常)を的確に伝えることの必要性が生じている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>この1年間で地域との関係は大きな深まりを見せた。地域合同の防災訓練に参加したり、地域ボランティアの受け入れも大きく増加している。地元大学の大学祭に招かれた際は、参加した14名の利用者全員に学生一人づつが付き添ってくれた。クリスマスのホームイベントには、地域ボランティアに加え、大学祭で世話になった大勢の大学生の来場が予定されている。</p> |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|--|-------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人の理念を具体的な言葉に変えて、誰にも分かりやすいホームの理念が作られている。しかし、地域との係わりに触れる文言は見られなかった。 | | 地域の社会的資源の有効活用や近隣住民との交流は盛んであることから、その取り組みの原点ともなる思想をホームの理念の中に入れられることが望まれる。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 事務室の目につきやすい場所に「ホームの理念」と「心得」が貼り出しており、職員はいつでも確認できる。分かりやすい言葉で書かれており、職員にも周知されている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の区長の助力もあり、町内会の防災訓練に職員と利用者が参加した。地域内にある大谷大学との交流も深く、大学祭に招待された折には、参加した14名の利用者全員に、大学生が一人ひとり付き添ってくれた。地域ボランティアも定期的に訪れている。 | | 前回調査と比較して、地域との交流が目に見えて深くなっている。今、ホームを訪れている大学生が、卒業後も訪問してくれるような関係にまで発展することを望みたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | それぞれのユニット毎に、管理者と職員がミーティングをして自己評価を実施した。時間はかかったが、職員教育の一環としての効果は上がっている。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月毎の運営推進会議が休むことなく続けられており、その都度議事録も取られている。構成メンバーにも偏りはなく、ホームの代表として管理者が出席するだけでなく、直属の上司である事務長も出席している。前回は、行政監査の結果報告も行われた。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|---|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 包括センターの職員が2ヶ月毎の運営推進会議に参加しており、市の担当者へ情報を伝えている。行政の監査時にも、適切な指導を受けている。指導事項に対しては、詳細な改善計画が立てられていた。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族への主要な情報伝達の手段は、訪問時の一時を利用しての報告・説明である。家族アンケートの結果から、情報の不足による誤解や思い違いをしている家族の存在が明らかとなっている。 | | ホームへの訪問回数が少ない家族、ホームでの日常を知らない家族、ホームの意義や役割を勘違いしている家族、認知症について正しい知識や認識をもっていない家族等、様々な家族の状況を想定し、適切な情報伝達の方法やツールなどのルール化が必要であろう。 |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の意見や要望の吸い上げは、面会時の聞き取りが主な情報源となっている。問題となるような意見や要望はないため、家族に対して苦情受付の第三者機関を周知させるための啓蒙活動は行われていない。 | | 苦情やクレームがないことをよしとせず、利用者や家族が意見や要望を自由に言い出せる雰囲気づくりに配慮し、複数の苦情受付窓口を用意していただきたい。 |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | これまで、職員の異動(離職)はほとんどない状態が続いている。職員が離職する場合には、利用者への影響を考慮して極力情報が伝わらないようにしている。 | | 利用者の動揺を心配するあまり、情報を伝えないことで、家族から不信感を持たれたり信頼関係が崩れるようなことはないか、再考を願いたい。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人本部が企画する新人の導入研修が実施されており、ホーム内の勉強会も定期的に行われている。時間の都合を付けて、外部研修への参加も意欲的に行われている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は、法人内の他ホームの管理者とのコミュニケーションを重視しており、意見交換も行われている。市が主催する介護事業者会議の後、地域の他ホームとの情報交換が行われており、入居状況や空き情報が相互に確認されている。 | | 他ホームとの職員レベルでの意見交換や職場研修、利用者の相互訪問等が実施され、新たな気付きや課題の発見につながることを期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|---|-----|---|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用希望者の体験入居は行われていないが、事前に家庭(病院)を訪問して、綿密なアセスメントを取っている。新しい利用者が既存の利用者のお隣りだったため、既存利用者が拒絶反応を起こしたことがあった。</p> | | <p>新しい利用者がホームに馴染めるか否かだけでなく、既存の利用者が新たな利用者のために、平穏な生活を乱されないような配慮も望まれる。</p> |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>地域がら、これまで農業に携わって来た方が多く、若い職員は畑作業のノウハウを教えてもらっている。英語の先生や筆で達者な文字を書かれる利用者もいる。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>利用者本人の意向や思いはフェイスシートに書きためてあり、計画作成時に利用されている。認知症の進行で、自らの気持ちを言葉に表せない利用者もいるが、職員は雰囲気やしぐさから利用者の思いをつかみ取るようとしている。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>カンファレンスで職員の意見が聞き取られ、利用者本人や家族の意見、要望を取り入れた介護計画が作成されている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>3ヶ月毎に介護計画が見直されて、新たな計画が作成されている。利用者の状態変化による見直しが行われた際、支援内容は変更されていたが、介護計画書を作り直す作業は行われていなかった。</p> | | <p>状態変化に伴ってケアの内容が変わる場合には、これまでの目標が適切であるか否かの検証をするともに、介護計画書を改訂することが必要であろう。</p> |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|--|---|-----|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 病院、歯科医院への通院の付き添いは全て職員が行っている。地域内にある大学との交流で大学を訪問する場合には、学生が無償ボランティアとして利用者の一人ひとりに付き添ってくれる。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 提携する病院の担当医が毎週1回往診に訪れ、利用者の健康管理についてのアドバイスももらっている。提携医以外をかかりつけ医としている利用者もいるが、職員と家族との協力体制で受診支援を行っている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 老人性病院での勤務経験から、管理者はホームでのケアの限界を熟知しており、医療行為の必要性等重度化時の対応については、他施設(病院、特養等)への移行が適切との判断基準をもっている。しかし、病院への移行後も利用者との関係を断ち切ることなく支援を継続している。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | プライバシーの尊重や個人情報の保護は法人の方針でもあり、繰り返し職員に伝えられている。排泄の介助についても、必ずドアを閉める配慮が見られた。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 介護度が低く、自らの意思を十分に表出できる利用者も多い。大まかな日課は決まっているものの、利用者の声に従って、予定が変更されることもしばしばである。食事に要する時間も利用者のペース任せである。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|-----|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ほとんどの女性利用者が食事の準備作業(調理を含む)に携わっている。働き手の多いことがトラブルの原因にならないよう、曜日毎の担当制がとられており、当日の担当であった女性利用者は、職員の一員として生き生きと働いていた。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 基本的には毎日入浴することができる。脱衣室の寒さ対策としてハロゲンヒーターが設置されており、快適な入浴支援が実施されている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用前から楽しんできた対象ごとを大事にしている利用者や、英語の堪能な元英語教師がいる。1週間に1回まわってくる炊事当番は、女性利用者の大きな楽しみとなっている。 | | 利用者の厨房での生き活きとした表情を見るにつけ、彼女らがいつまでもそこに立ち続けることを願ってやまない。役割を持ち責任を果たすことで、精神的、肉体的な健全性が維持できることを痛感させられた。継続した支援に期待する。 |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩は天気によければほぼ毎日実施している。家庭菜園では、利用者の精根込めた冬野菜の大根やネギが大きくなっていた。買物では利用者の全員が自ら支払いを行っている。ドライブや散歩時に集めたくるみ(くるみ味噌)や銀杏も食卓に上っている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ホームの前を交通量の多い国道が走っていることもあり、利用者の安全確保を最優先して、常時玄関の施錠が義務付けられている。 | | 施錠を恒常的な方針とせず、施錠によるデメリットや部分的(時間限定)に施錠しないケアの可能性について、職員間での意見交換に期待したい。 |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 管理者は、災害発生時の地域との連携の必要性を認識しており、運営推進会議に諮って、地域住民参加の防災訓練実施に向けてのプラン作りを行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 利用者個々のカロリー摂取量の把握には至っていないが、食事摂取量が記録されており、体重測定の結果から判断してカロリーオーバーとならないように注意している。水分摂取の目標は、一人当たり1,500ml/日である。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ゆったりとしたリビングを始め玄関や通路も季節(クリスマス)の飾り付けが進んでいた。リビング奥の畳のコーナーには、職員が家庭から持ち込んだ大きなクリスマスツリーが飾られていた。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間が生活の中心になっている利用者が多く、居室にはさほど多くの調度や生活用品の持ち込みはない。しかし、どの居室にも家族の写真は定番のように飾っていた。 | | |